

日本建築学会中国支部「建築文化週間 2010」

テーマ：建築文化週間 2010

「明日の住まい・暮らし・地域と住生活支援産業 ―地域に根ざした展開―」

日 時：平成 22 年 10 月 23 日（土），13:00～16:30

会 場：広島県情報プラザ 第 1・2 研修室（広島市中区千田町 3-7-47）

定 員：100 名（当日先着順）

参加費：無料

趣 旨：人口減少・環境負荷軽減という時代と状況を背景に、我々の住まい・暮らしも「ストック軸」への転換が求められはじめている。「良いものをつくり、きちんと手入れをして長くつかう」ことを基本的な姿勢として豊かな「住まい・暮らし」を実現していくためには、住まい手にとって価値の高い「長く住み続けたいくなる」住宅やその立地する地域を創出・維持していくとともに、リフォームや住替えなど「住みこなし」を多面的に支援する地域に根付いた専門家・企業による支援サービスの充実を目指していく必要がある。そこで本シンポジウムでは、中国地方の地域特性を踏まえながら、これからの住生活ビジョンと、その実現を目指しつつある住まい手・専門家・企業等の先導的な取り組みを集約し、明日の住まい・暮らしとこれを支援する住生活関連産業のあり方を考える。

プログラム（司会：福田由美子 広島工業大学）

13:00 開会の挨拶（日本建築学会中国支部長）

13:05 主旨説明（建築文化週間シンポジウム 2010 実行委員会）

13:15 基調講演（住宅政策をめぐる昨今の動き：国土交通省中国地方整備局担当官・予定）

13:40 時代を見据えた住宅供給の先導的事例①（エルクホームズ（株）社長 蔭山明氏）

14:00 時代を見据えた住宅供給の先導的事例②（山根木材（株）常務 山根誠一郎氏）

14:20 既存住宅のリフォーム・市場流通・住宅コミュニティの維持管理分野での先導的事例（NPO 法人尾道空き家再生プロジェクト代表理事 豊田雅子氏・予定）

14:45 休憩

15:00 すまい手の視点から見た「住みこなし」支援サービスへの期待と課題（小林文香 広島女学院大学）

15:25 パネルディスカッション・質疑応答

（住宅関連産業の方々・市民の方々からインプットいただく可能性あり）

16:25 閉会の挨拶（日本建築学会中国支部）

主 催：日本建築学会中国支部

企 画：日本建築学会中国支部建築文化週間シンポジウム 2010 実行委員会

後 援：広島県、広島市、NHK 広島放送局、中国放送、中国新聞社、広島県建築士会、広島住まいづくり連絡協議会